

|       |   |
|-------|---|
| 部門名   | 一般土木工事（大規模）   |
| 案件名   | 市道福浦法田線道路改良その14工事   |
| 工期（始） | 令和4年8月30日   |
| 工期（終） | 令和5年2月10日   |
| 場所    | 美保関町  |
| 事業者名  | 株式会社松和  |
| 代表者名  | 代表取締役 安達 好夫   |
| 技術者役職 | 主任技術者   |
| 技術者名  | 安達 信二   |
| 工事概要  | 施工延長 L=259.4m<br>土工 N=1式<br>法面保護工 A=708 m <sup>2</sup><br>道路側溝工 L=270m<br>舗装工 A=252 m <sup>2</sup>  |
| 表彰理由  | 本工事は長大法面を掘削して道路拡幅する工事である。土質の変化により工事内容の変更が生じたが、円滑な現場運営で事故苦情なく工期内に完成させた。また、暫定形での供用となったが、幅員の確保や走行性に配慮された舗装擦り付けの実施や、出来形管理に独自の判定シートを用いて施工精度の確認を行うなど、全体を通して優良な工事であった。 |

本工事の表彰技術者である、株式会社松和の主任技術者（当時）安達信二氏は受賞の感想を「このたび松江市優良建設工事の表彰を賜り、誠に光栄に存じます。これもひとえに、監督職員、並びに地域住民の皆様、工事関係者のご理解とご協力のおかげによるものと深く感謝しています。」と話す。

本工事で心掛けたことは「道路線形はカーブが急で縦断勾配も急峻でしたので、側溝施工にあたり、TS 測量によりこまめに確認することに心掛けました。」と語る。苦労したことについては「本工事は、道路側溝を設置し現道に仮舗装を擦り付ける暫定工事でした。現況の舗装を出来るだけ残すことによりコストを押さえながら安全な通行が確保できるように設計を見直すことに苦慮しました。」と振り返る。



安達氏は仕事における今後の目標は「今回の受賞を励みとし、今後も発注者、地域住民、工事関係者と密なコミュニケーションを大切にし、より良いものづくりができるよう、精進してまいります。」やりがいについては「建設業の仕事は、道路、橋、建物等、様々な大きなものづくりであり、人々の暮らしを支えています。ゆえに完成した時の達成感は多大なものであり、『自分が造った』と自負することができる魅力ある仕事です。」と話す。

これから建設業界を目指す人へは、「自分自身が携わった工事が形として残り、達成感が得られる業種です。」とメッセージを送った。



株式会社松和  
(写真左) 代表取締役 安達氏  
(写真右) 主任技術者 安達氏